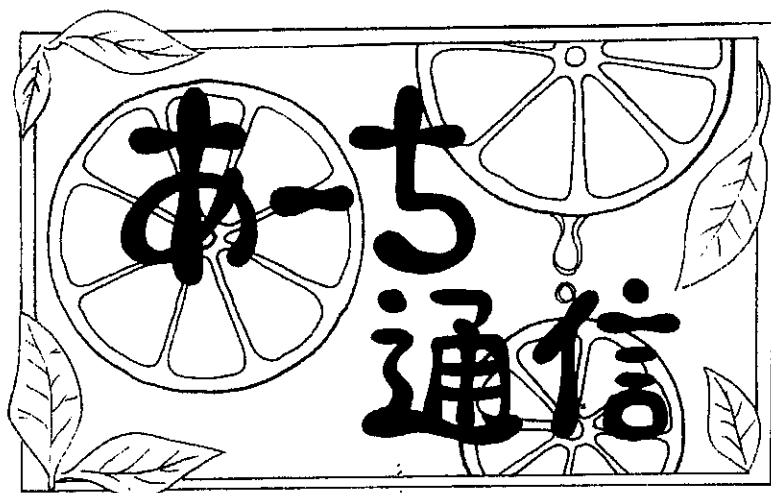




2013年 11月号 vol.98

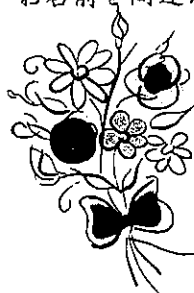
神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL & FAX 078-805-6090 【開館：火～土曜日】
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971

あーちスタッフ 橘さん 退職のごあいさつ

もう6年!!
あーちの火・水曜日の受付を担当してもうそんな月日が過ぎてしまいました。
同時期に誕生した初孫も6歳の誕生日を迎えました。
すぐには会えない孫家族の姿を来館されているお母さんや子どもさんに重ね合わせたこともありました。

初来館で不安そうにされていた方が、いつの間にか笑顔で楽しそうにお話されていたり、しばらくぶりでお二人目、三人目のお子さんを連れて来館されたりと嬉しいことも沢山ありました。お名前を間違えて呼んでしまったことも数知れずありました。



楽しい思い出ばかりのあーちでした。
これからは、皆さんから頂いた“パワー”を次のステップに生かして行けたらと思っています。

皆さんの居場所である“あーち”がこれからも永く続き沢山の“出会い”がありますように祈っています。
永い間、楽しい時間をありがとうございました。
橘 京子

「こすずめのぼうけん」

作：ルース・エインズワース
訳：石井桃子 画：堀内誠一
出版社：福音館書店 発行日：1977年4月



あるところにこすずめがいました。こすずめは、お母さんと一緒に巣の中でくらしています。ある日、お母さんに飛び方を教わったこすずめは、言いつけを守らずに一人で遠くまで飛んでいってしまいます。しばらく飛んでいると疲れてしまい、休ませてもらおうといういろいろな鳥たちに助けを求めますが…。

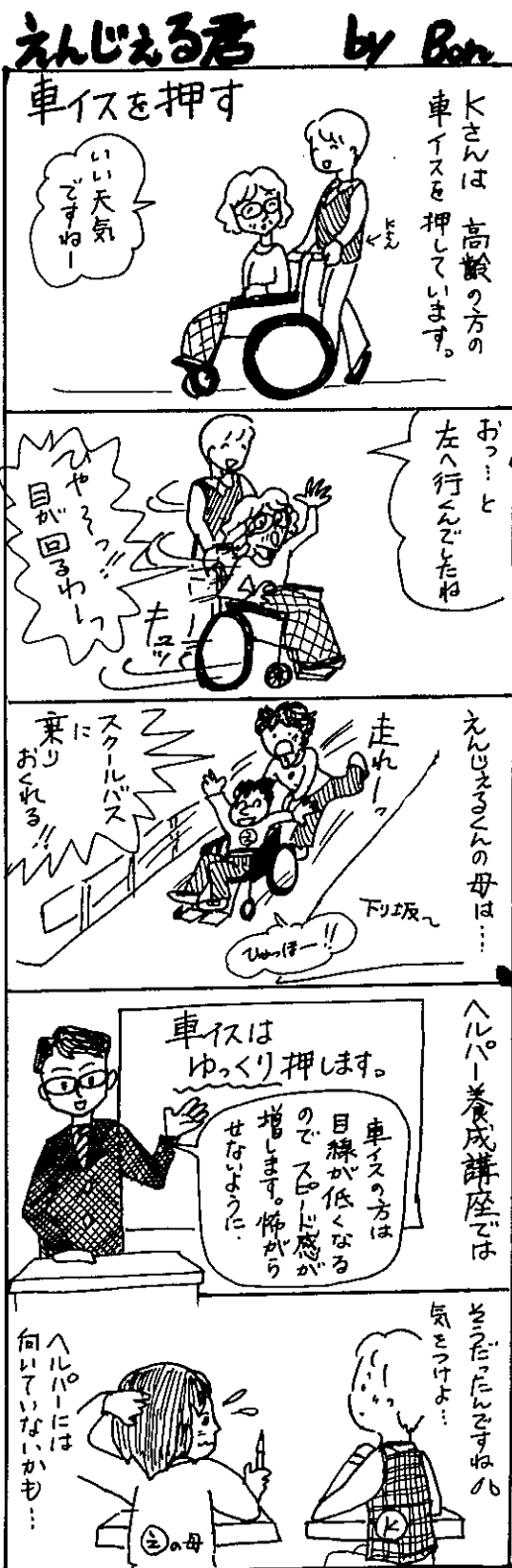
こすずめの冒険にハラハラさせられながらも、最後には親子の愛情を感じることでできる名作です。絵もかわいらしく、身近な鳥たちも登場するので、お子さんにも喜んでもらえること間違いなしです!

(神戸大学 発達科学部 人間形成学科 3年 堤茉莉花)

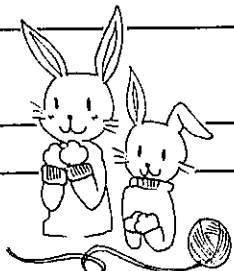


消防訓練のお知らせ

11月6日(水) 午後2時より、避難訓練に参加していただきます。
みなさんのご協力をお願いします。

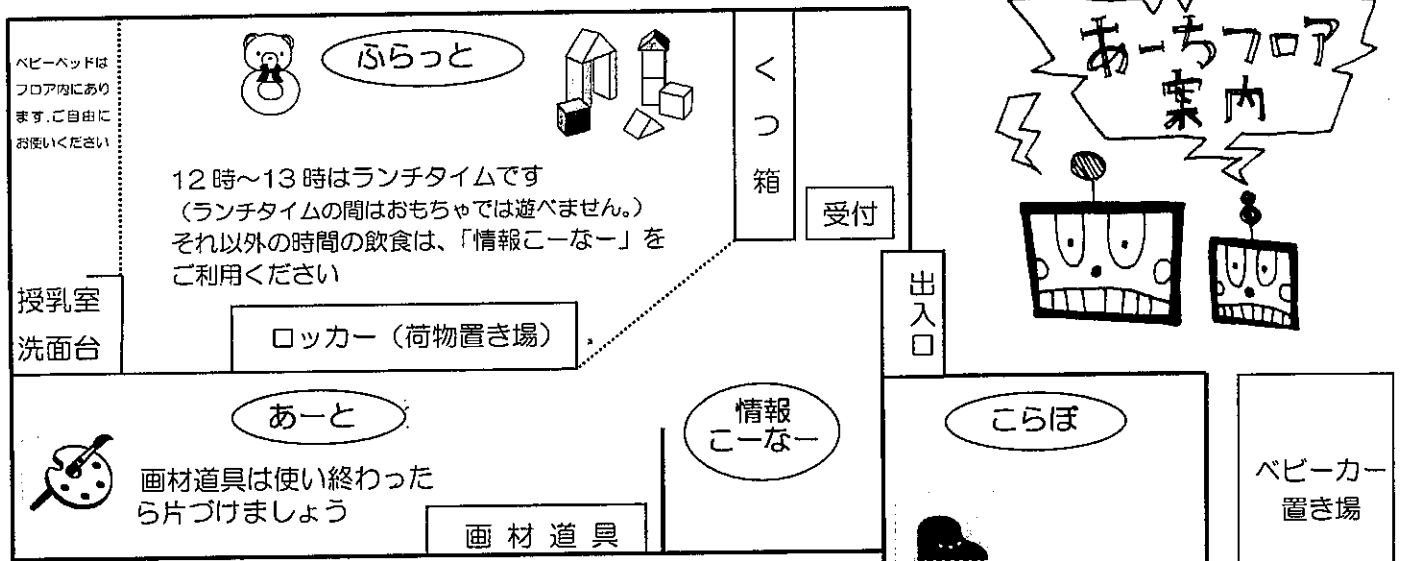


11 月 予 定 表

		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち	
1	金	居場所づくり 3時～6時			
2	土				
3	日	休 館			
4	月				
5	火	ピーナッツ（申込制）10時30分～12時	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）	
6	水	消防訓練 2時～			
7	木	みんなで歌おう 午前中		お口と歯の相談タイム 1時30分～	
8	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時			
9	土	0歳児のパパママセミナー（※通年プログラム）／中・高校生の赤ちゃんふれあい		人形劇 1時30分～2時30分	
10	日	休 館			
11	月				
12	火			おひさまひろばあーち（午前中）	
13	水	ほのぼの音ランド 11時20分～			
14	木	「おくちをあーん」1時30分～2時10分	筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（はいはい期）11時～	
15	金	居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時		
16	土	ぽっとらっく（予約制）午後		紙芝居 11時～	
17	日	休 館			
18	月				
19	火	ピーナッツ（申込制）10時30分～12時	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）	
20	水	あーち通信編集会議 1時30分～ あーち連絡協議会 3時～			
21	木	あーち♥ピギナース交流会（予約制） （6か月未満のお子さん）1時30分～3時	めだか親子クラブ 2時30分～		
22	金	居場所づくり 3時～6時／らくがきおばさんがやってきた 3時30分～			
23	土	休 館			
24	日				
25	月				
26	火			おひさまひろばあーち（午前中）	
27	水			おしゃべりほっとタイム 11時～	
28	木		筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（ねんね期）11時～	
29	金	居場所づくり 3時～6時			
30	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～			

- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。
- ・プログラム参加の年齢制限はありません。内容など詳細は受付までお問合せください。
- ・「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・「0歳児のパパママ交流会」の本年度参加受付は終了いたしました。（見学可）





～お気軽にお声をかけてください～

<ふらっと相談員>

火曜 午前 保育士
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
木曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター
助産師 (月2回)
金曜 全日 発達相談員 (11:00～16:00)
土曜 全日 元母子相談員
午前 助産師 (第2土)
不定期 歯科医師 臨床発達心理士
※詳細は受付へお問い合わせください。

あーちのルール

- ☆オムツやゴミはお持ち帰りください
- ☆託児はできません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です



「えっ!?」「んっ!?」「あれ、...!?」、とね

あかいえほんをひらいたら...
てんとうむしがいて ひらこうとしているのは...

読者～登場するのは あなた～小さな生きもの～大きな生きもの
でもページは小さくなっていく。

そして とじていくのは その反対にページは大きくなっていく。

難しい訳じゃないのに 不思議な感覚になって
「もう1回!」 となるかも。

絵本作家の意図にはまったのは私だけ?
絵本の不概念にひかれた製本だったの?
私の頭の中では次々アイデアが広がっていきます。



ジェシー・クラウスマイヤー 文
スージー・リー 絵
石津ちひろ 訳
講談社 2013年1月発行



浜家

ごろんごろんで見上げれば

第五話 にんじんケーキはどんな味

ゆきはな

題目は「原発問題を考える」。原発事故を機に福島からこの街へ移住してこられた A さんのお話を聞く勉強会が先日、うちの近くで行なわれました。何ヶ月もまえから心待ちにしていたのですがこの日に限ってお昼寝から娘が起きてくれず、汗を拭き拭き大幅な遅刻。なんとか、少しだけお話を聞くことが出来ました。少しだけではありますが、「少し」が全体を貫いているような気がしたので感じたことを言葉にしてみようと思います。

お話は A さんが最近見られたある映像についてでした。

「産まれたばかりの子どもさんと奥さんが遠くへ避難した、地元に残る若いおとうさんが、泣きながら酒を飲んでる様子だったんですよ、そのとき久しぶりに涙が止まらなかった。放射能の心配をしなくていいところに暮らしていると、いつの間にか忘れちゃってる自分がいるんですよ・・・」

美しい福島という言葉でこの話を語る A さんもまた、小さなお子さんを連れて家族から離れ避難生活を送られています。この日参加されていた初老の男性は避難することに他の家族の理解を得られず家族は文字通り「バラバラ」になりながらも娘さんとお孫さんを連れて線量の高い地域から越して来られていました。考え方は人それぞれですが、残ることも去ることも、どちらも重い重い決断です。

「安全だよ」、「危険です、逃げてください」・・・色々な声が霧の中で響いているような日々を過ごしていましたが、これが現実なのだと思います。色も匂いも音もなく、ある特定の地域に暮らす人々のつながりを分断し、暮らしや人間関係を大きく変えようとしている。そして色も匂いも音もないから、何事もなく過ごすことも出来るし、忘れることも簡単です。A さんですら、時々「あ！」と思いつくと仰るのです。恥ずかしながら、事の外側にいると思っている私は尚更です。目に見えないなら、苦しみは出来るだけ遠ざけたい。いつの間にかそう思っていたような気がします。

けれども毎晩のように娘の名前を呼びながら帰宅し、笑ってもらって有頂天になっている夫の様子を見ていると、その若いおとうさんの辛さが身にしみてきました。遠い世界の出来事ではありません。今、大切な人たちと一緒に居たいという当たり前の願いは当たり前のように踏みにじられているように感じます。

A さんは私と同じこの街に暮らしながら、線量の高い地域に暮らす子どもたちの保養の機会を増やしていく活動に力を入れて行動し続けておられます。私はまず、忘れないで、繋がってくこと。そんなことを考えながらベビーカーを押し押し八百屋さんやスーパーを渡り歩いて買物をしました。買った物を混ぜ合わせてオーブンで焼くと大好きなにんじんケーキになります。娘の夜泣きに眠れない日々を過ごし、疲れて仏頂面の私は、妻の不機嫌さに肩身を狭くしている夫と一緒に、色々つまったこのケーキの味をしっかりと噛みしめたいと思います。

